

< 運営推進会議における評価\_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 彩のかけはし	事業所名	看護小規模多機能つしまの郷
所在地	(〒 950-0801 ) 新潟県新潟市東区津島屋 7-1-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・看護小規模の強みを活かし、在宅生活を送ることができるように本人や家族の要望を尊重しサービス提供に努めています。  
 ・つしまの郷を利用して笑顔で過ごしていただける様に一人一人に寄り添ったサービス提供を心掛けています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 1 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	( 12 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 3 月 27 日	出席人数 (合計)	( 8 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 2_人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ___人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1_人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 3_人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ___人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1_人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1_人) <input type="checkbox"/> その他 ( ___人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<p>① 事業所の理念を再認識し、いつでも実施できる体制を整える。 ② 法人内の研修に参加し専門性を高める。 ③ 働きやすい職場作りやサービスの質の向上 ④ 緊急時の具体的な対応方法の周知</p>	<p>① 事業所理念を掲げいつでも実践できる体制を整えた。 ② 法人内研修の実施にて専門性の向上に努めた。 ③ 休暇を取得しやすいような環境を整えた。 ④ 委員会でヒヤリ事故報告の発生状況を検討した。</p>	<p>法人内での研修の機会を設け専門性を高める事ができた。ヒヤリハット報告書の発生状況を委員会で集計し職員へ周知、発生防止について検討した。 問題点について話し合い良い方向に努めていることは大変良いと意見を頂いた。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>① 利用者や家族へ目標の達成に向け、作成した計画がわかりやすく明確になるよう支援していく。 ② 利用者の起こりうる状況の予測と、変化の早期発見・早期対応に繋がれるよう看護・介護職員だけでなく多職種での情報共有ができる体制を作る。 ③ サービス提供時における多職種での情報共有を利用者・家族にも迅速に伝達する意識を持ち、サービスの趣旨・サービスの内容・医療的処置の方法などの説明も行い、十分な理解を得られるようにする。</p>	<p>① 利用者や家族へわかりやすく説明を行った。 ② 看護師・介護士が連携を図り、それぞれの専門性を活かしサービス提供を行った。 ③ サービス利用開始前や開始後にも不安・疑問点について随時説明し安心してサービスを利用して頂けるように努めた。</p>	<p>看護職員・介護職員間の情報共有を行いそれぞれの専門性を活かしたサービス提供を行い、状態の変化や状況の変化にも臨機応変対応できるように努めた。</p>
<p>2. 多機関・多</p>	<p>① 医療機関からの利用については、退</p>	<p>① 退院後のサービス利用がスムーズに</p>	<p>医療機関からの退院後の利用に関して</p>	

	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	① 医療機関からの利用については、退院後も安心して在宅生活が送れるよう、多職種での支援ができるように連携と情報共有に努める。 ② 緊急時・急変時の対応を全ての職員が周知できている体制の構築に尽力する。	① 退院後のサービス利用がスムーズに行えるように退院前カンファに参加し多職種との情報をお共有し連携に努めた。 ② 緊急時・急変時には、その都度職員が周知できる様な対応をおこなった。	医療機関からの退院後の利用に関しては、関係機関や他職種と連携して在宅生活開始に向けて情報共有を行った。 緊急時・急変時には、看護師の不在の夜間や自宅での対応についても職員への周知を図った。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	①医療ニーズの高い利用者、終末期の利用者の受け入れが常時できる体制づくりを継続する。 ③ 運営推進会議は可能な限り開催し、地域住民の方に看護小規模のサービスを知ってもらう。	① 医療ニーズの高い利用者 (対応可能な) の受け入れ体制は整えた。 ② 運営推進会議の開催や看護小規模 ③ のサービスを知っていただける様に地域に回覧板を依頼した。	医療ニーズの高い利用者の受け入れは対応可能な範囲で受け入れ態勢は整えている。喀痰吸引の研修を全職員が受講しておらず、受け入れ態勢は出来ていない。コロナ感染も大5類となり、運営推進会議も開催できるようになってきた。地域住民へのアピールも大切との意見を頂いた。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		看護小規模のサービス概要を職員各々が再認識し、サービスの導入により、利用者及び家族が在宅生活を継続しているか、見取りまでの安心感を得ただけかを意識してサービスの提供に努める。	① 医療が必要な状況になっても利用者・家族に説明し看護師が対応 (訪問含め) 安心して頂いた。 ② 看取りになった場合も、家族・利用者の要望や主治医との連携を図っている。	利用者だけではなく、家族にも看護小規模のサービスを利用することで在宅生活で安心して頂けるように意識している。また、看取りになった場合も安心して頂けるようなサービス提供を行っている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)	法人内外研修の研修を自発的に参加できる体制や人材確保が重要である。1月の能登半島地震や近年災害が増えてきたので災害への対応を職員の共有認識が必要である。BCPの作成地域の方が参加型の研修もよいのではないかとのご意見を頂いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害発生時や感染症発生時の業務継続計画（BCP）について職員間での共有していく。</li> <li>・法人内外の研修にて専門性の向上、サービスの質の向上に努める。(地域住民の参加できる研修については、検討していきたい。)</li> <li>・人材の確保を行い職員が働きやすい環境を整えより良いサービスの提供を行う。</li> </ul>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11~27)	看護職・介護職の情報共有も大切であるが、各々の専門性を持った役割分担も必要である。様々な疾患がある中で利用者の状況を早期に把握し随時見直しや計画を立て実行することは大変なこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントを行い看護職と介護職で情報を共有する。</li> <li>・看護小規模の機能を活かし、看護師を中心とし予後・予測を踏まえた計画を作成する。</li> </ul>
2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28~31)	退院後の生活に不安なく移行できる様に病院の多職種との連携を十分に持ちスムーズに在宅生活が行うように連携を図ることが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・365日・24時間体制の構築のために職員全員がサービスを理解し多職種連携の重要性を理解する。</li> <li>・退院後の在宅生活への移行に向け医療や多職種連携のもと情報を共有し在宅生活を支援する。</li> </ul>	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32~41)	利用者が地域の中で生活するには地域と事業所との相互扶助の関係性が重要である。まずは事業所のある町内や自治会との関りを多く持つてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の役割を理解して頂ける様に地域への啓発活動を増やす。</li> <li>・医療ニーズの高い利用者の受け入れを積極的に行えるように体制を整える。</li> </ul>	
III. 結果評価 (評価項目 42~44)	利用者が安心して住み慣れた地域の中で暮らして行けるように地域全体で支えていける体制を整えていくことが重要。	看護職・介護職の専門性を活かし、利用者・家族が安心して在宅生活を送れるよう継続的な支援を行う。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			おおよそ出来ている様になります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している		○			専門ではないので、まずまずではないでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る	各職員へ半期ごとの目標管理や人事考課の際には面談を行っているが、中長期的な育成計画は作成していない。					などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に研修などを受講できると良いと思います。</li> <li>・今までは、コロナ禍の中研修は開きたくても出来ないことがあり大変でしたが、これからは少しずつ良くなっていくのではと思います。</li> </ul>	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>毎月、多職種が連携してカンファレンスの開催や、日々の情報は毎日職員間で情報を共有している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議のたびに、お話しを聞かせて頂いています。本当に</li> </ul>	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の観点から、充足度

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	供等に反映させている	[具体的な状況・取組内] 要望や助言があればサービスに反映する ように努めている。				良い所ともう少し頑張っ てほしいことはたまにあり ます。	を評価します
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に 努めている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支との兼ね合いもある が、人材確保は重要</li> <li>・今は、どこの職場でも人手 不足だと言う声を聞きます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「職員が、安心して働くこと のできる就業環境」の充足度を評価し ます</li> <li>✓ 例えば、「職員の能力向上の支 援」、「精神的な負担の軽減のため の支援」、「労働時間への配慮」な どが考えられます</li> </ul>
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
<b>① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備</b>							
8	○ 利用者等の情報について、 随時更新を行うとともに、 必要に応じて職員間で迅速 に共有できるよう工夫され ている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしいと思います。</li> <li>・働くには人手不足が大変か も知れませんが、少ないなり に頑張っって迅速、共有が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間 で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価し ます。</li> </ul>
<b>(5) 安全管理の徹底:</b>							
<b>① 各種の事故に対する安全管理</b>							
9	○ サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「各種の事故に対する予防・対 策」の充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ため、事業所においてその 具体的な対策が講じられて いる	[具体的な状況・取組内容] 各種マニュアルを作成し対策を講じてい る。					対策が求められる事項としては、 例えば「医療・ケア事故の予防・ 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の犯対策」、「個人情報保護」など が考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で きるよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている			○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成中ということだが 近年災害も増えてきたので 早急にまとめてほしい。 (作成済)</li> <li>・いざという時に行動できる よう、共有・イメージが必 要だと思います。</li> <li>・今年1月の大きな地震があ りましたが、一般の私達も 安全確保の難しさを知りま した。施設での共有が大切 ですね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度 を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケア のマニュアル化」などが考えられ ます</li> </ul>
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を			○		利用者さんの多い中、良くや っておられると思っていま	✓ 「家族等も含めた24時間の暮ら し全体に着目したアセスメント」



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	[具体的な状況・取組内容] 利用者の在宅での様子など、生活状況の変化やご家族の困りことなど聞き取り、暮らし全体を把握した課題分析が行われている。				す。	の充足度を評価します ✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている		○			良く活動している様に思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能		○			・「地域の中で」というのはとても難しいことだと思います	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視し</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 利用者の有する能力を活かし心身機能の維持・向上を目指した計画は作成されているが、地域の中での自立した生活とまでは至っていない。				ます。自施設だけでなく、地域の協力が必要だと思えますし、どのように取り組んでいるか知りたいです。 ・かるい運動ができる方は日常的に手・足を動かして少しでも元気になってほしいと思います。	た計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			・素晴らしいと思います。 ・看護、介護両方から意見を求めてよいのでは、疾患としてのリスクは看護職ですが、その疾患からくる生活への影響という面では介護職かと思う。 ・計画作成するうにも症状の違うことなので大変です。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、		○			✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度	

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	[具体的な状況・取組内容] 状態の変化に応じケアプランの変更を行い適宜見直しを行っている。				<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCA を継続的に実施することは大変なことだと思います。</li> <li>大変ですが、頑張ってください。</li> </ul>	を評価します
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>本人のケアは当たり前に思われていると思うので、家族の方との話し合いが大切かと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>情報共有ということであれば、主治医へ提出している報告書や指示書を家族にも提出したらどうか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かし		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>共有だけでなく役割分担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	ながら、柔軟な役割分担が行われている	[具体的な状況・取組内容] 看護師・介護職のそれぞれの専門性を活かして柔軟に役割分担を行っている。				は大切、少ない職員の中ご苦労様です。	度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に 応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている		○				✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている		○			・病状の変化のある中、気を使うことは大変です。	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
[具体的な状況・取組内容] 看護師より介護職へ今後の病状の予後予測などの情報提供を行っている。							
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴		○			「伝え方」やその時の環境に	✓ 「利用者等の理解」について、充

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている					より、変化することもあると思います。支援においてこの部分が一番難しいと思います。	足度を評価します
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> サービス内容については、本人・家族が理解しやすいように説明を行っている。忘れてることもあるので、その都度説明し誤解のないように努めている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○				✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 看護師による看護計画書や訪問時にその都度説明し理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			何回位、行っているのですか 月単位で	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 口頭だけでなく、実際に行いながらわかりやすく説明を行っている。 理解度については、その都度確認をおこなっている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映して		○			・ご家族様との相談が大切	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 家族より本人の思いを確認してサービスに					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いる	反映している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 全ての利用者ではないが、生活状況や身体状況に変化があった場合に、将来の生活についての提案を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している			○			<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 終末期ケアの対象者がいない。					
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まっている病院はあるのですか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 退院前カンファレンスに参加し医療機関からの情報を得て、円滑に在宅生活を開始できる様に連携を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有</b>							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
<b>③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築</b>							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
<b>① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討</b>							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体を取り込むには大変かと思いますが、口コミなども必要かなと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことが</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
							ない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○				✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 施設の玄関にファイリングされ、いつでも閲覧可能となっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている			○			✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
		[具体的な状況・取組内容] 地域自治会へ事業所のパンフレットを地域の回覧板に添付してもらったが回数が少ない。				・発信することは、とても難しいことです。頑張ってください。 ・自治会への回覧板へ添付してもらおう回数を増やしたらどうか。	
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対				○		✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	象とした訪問看護を積極的に実施している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> 登録者以外を対象とした訪問看護は実施していない。				・地域性もありますが、なかなか登録していない場合は難しくかもしれません。	対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、【具体的な状況・取組内容】欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている				○	・医療ニーズの高い介護者の費用や人員等必要かと思いますが支援向上のためにも必要だと思います。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする				○		✓ 「積極的な受け入れ」について、

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<b>【具体的な状況・取組内容】</b> 人工呼吸器を必要とする要介護者の受け入れは整っていない。					充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○				✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している			○			✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている				○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと地域との関わり方を検討して頂きたい。</li> <li>1/1 の地震による防災訓練も必要だと思います。</li> <li>・防災訓練については各中学校の理解協力をお願いできないでしょうか (生徒)</li> <li>・散歩できる方なら、大形地域での行事の参加が可能な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						ら秋に行われるウオークラ リーなどに参加できます。	して提案していくなどの役割も 期待されます ✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対 し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている		○			特になし。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介 護力の引き出しや向上のための 取組」について、その充足度を評 価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣 住民の関わりを促しながら、関係 者全員の介護力を最大限に高め ることにより、在宅での療養生活 を支えていくための環境を整え ていくなどの役割も期待されま す</li> <li>✓ そのような取組をしたことがな い場合は、「全くできていない」</li> </ul>

[具体的な状況・取組内容]

家族が介護に関する事や、サービスに関  
する事が相談しやすい環境を尽力してい  
る。

必要にお応じ介護の指導や精神面でのサ  
ポートを行い在宅生活を支えている。

少数ではあるが、近隣住民からの協力を  
受けている。

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている。	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 計画目標の達成が困難になった場合は、随時計画の見直しを行っている。	・2/3の利用者の達成があることは大変素晴らしいことと感じます。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 在宅生活での医療が必要な場合、家族に安心して頂ける様、報告や相談を行っている。	同上	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成さ	在宅での看取りの希望者がいないと言うことは身	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービス

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	<p>利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている</p>	<p>れている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている ④. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> 在宅（事業所を含む）での見取りを希望される方は少ないが、見取りの場合は家族に対して丁寧に説明し安心して頂ける様に尽力しており、いつでも面会に来ていただける様に対応している。 主治医への連携も取れている。</p>	<p>内がないとか、遠くに住んでいるためか。</p>	<p>の提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>